

# シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報/Syllabus Information

※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットでご案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

## 授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42040100	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus		
授業開講年度/Academic Year	2026年度	オンライン授業60単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses			
管理部 署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー】/Course Number 授業名称/Class Title	【100】 災害復興学A 【被災者支援】 /Disaster Recovery Studies A				
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring	曜時/Day and Period	金曜2時限/Friday 2
担当者/Instructor	羅 貞一 (NA JONGIL), 大牟田 智佐子 (OMUTA CHISAKO), 坂口 幸弘 (SAKAGUCHI YUKIHIRO), 津久井 進 (TSUKUI SUSUMU), 古部 真由美 (FURUBE MAYUMI)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

## — 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業科目実施区分/Course Implementation Category	対面授業科目/Face to face format
授業目的/Course Purpose	災害復興制度研究所が理念に掲げる「人間の復興」を実現させるため、主に被災者支援に携わる実務者、研究者の経験知に基づく教訓から学び、一連の講義として共有する試みである。 阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などから得られた教訓と、復興途上にある東日本大震災や熊本地震、能登半島地震および各地の水害の現状を踏まえて、被災者支援について考える講義によって受講生の災害への関心を高め、大災害があぶりだしたこの国の有り様を考える。
授業目的(英文)/Course Purpose	Based on the philosophy of "Human Recovery," this course shares lessons learned from practitioners and researchers involved in disaster relief. By examining past disasters like the Great Hanshin-Awaji and Niigata Chuetsu Earthquakes, as well as ongoing recovery efforts from the Great East Japan, Kumamoto, and Noto Peninsula Earthquakes and recent floods, students will reflect on the importance of victim support and the social issues revealed by these catastrophes.
到達目標/Learning Goals	下記項目について習得することを到達目標とする。 a)日本を襲った大災害の被害や特徴などを理解する。

	b)それらの災害において得られた教訓と課題を理解する。 c)被災者の立場に立った支援の重要性を理解する。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire an understanding of: a) The characteristics and damage caused by major disasters in Japan. b) The lessons learned and the challenges revealed by these disasters. c) The importance of providing support from the perspective of disaster victims.
授業の概要・背景/Course Outline	阪神・淡路大震災から30年を経て、風化を止めることはできない。また2020年には新型コロナウイルス感染症が社会の問題をより顕在化した。2024年能登半島地震では、超高齢社会の日本の災害脆弱性が明らかに表れた。さらに、南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生確率は高まり、また地球温暖化によって豪雨災害の巨大化及び頻発化が懸念されている。私たちはいつ、どこで被災者になるのかわからない時代に生きている。そしてその中でボランティアに関わる機会もまた多くなった。当授業では阪神・淡路大震災や新潟県中越地震で被災者支援に長く携わってきた実務者や研究者らを招き、「人間の復興」を考える。
授業方法 Course Format	本授業では、講義形式で授業を進めていく。 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、能登半島地震など、様々な復興に携わってきた実務家や研究者を講師としてお招きし、オムニバス形式で講義を行う。毎回、講師からの課題について、最後の15分間で平常レポートを作成する。
検索キーワード/Keywords	災害復興 阪神淡路大震災 能登半島地震 東日本大震災 熊本地震 被災者支援

— 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【スタートアップウィーク】 リンク：LUNAから、見れます。(4月3日) オンライン授業（オンデマンド型）／《90分》 【講義】 ガイダンス 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	授業中に適宜指示する。
第2回 Session 2	【コアウィークス①】 対面授業／《90分》 【講義】 災害復興と現研融合 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 山中茂樹）	
第3回 Session 3	【コアウィークス②】 対面授業／《90分》 【講義】 復興とは何か。 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 室崎益輝）	
第4回 Session 4	【コアウィークス③】 対面授業／《90分》 【講義】 災害の記憶、教訓を伝えるための記憶空間 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
第5回 Session 5	【コアウィークス④】 対面授業／《90分》 【講義】 能登半島地震・東日本大震災と広域避難 【講師】 まるっと西日本代表 古部真由美	
第6回 Session 6	【コアウィークス⑤】 対面授業／《90分》 【講義】 国内の災害ボランティアによる被災者支援 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 被災地NGO協働センター顧問 村井雅清）	
第7回 Session 7	【コアウィークス⑥】 対面授業／《90分》 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 岡田憲夫）	
第8回 Session 8	【コアウィークス⑦】 対面授業／《90分》 【講義】 法律家による被災者支援 【講師】 芦屋西宮市民法律事務所弁護士 津久井進	
第9回 Session 9	【コアウィークス⑧】 対面授業／《90分》	

	【講義】 グリーフケア 【講師】 人間福祉学部教授 坂口幸弘	
第10回 Session 10	【コアウィークス⑨】 対面授業 / 《90分》 【講義】 海外の災害救護機関による被災者支援 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
第11回 Session 11	【コアウィークス⑩】 対面授業 / 《90分》 【講義】 震災障害者 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー NPO法人よろず相談所元代表 牧秀一）	
第12回 Session 12	【コアウィークス⑪】 対面授業 / 《90分》 【講義】 地域復興② 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 岡田憲夫）	
第13回 Session 13	【コアウィークス⑫】 対面授業 / 《90分》 【講義】 報道機関による被災者支援 【講師】 毎日放送メディア報道部副部長 大牟田智佐子	
第14回 Session 14	【フレックスアワーズ】 リンク：LUNAから、見れます。(7月10日) オンライン授業（オンデマンド型） / 《90分》 【講義】 多文化共生社会における災害復興 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
第15回 Session 15	【フレックスアワーズ】 リンク：LUNAから、見れます。(7月17日) オンライン授業（オンデマンド型） / 《90分》 【講義】 被災者支援のまとめ 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
授業外学修 Study Required outside Class	当該授業における授業資料、関連書籍などでの予習と復習を行う。 【復習課題】 前回の授業に配布した資料を読む 【予習課題】 次回の授業資料を読む	

— 教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	各回にて授業資料を配布する。
-----------------------	----------------

参考書/Reference books	著者名 Author	タイトル Title	発行所 Publisher	出版年 Year of Publication	ISBN	ボタン Button
	山中茂樹	人間の復興	関西学院大学出版会	2023年	9784862833655	OPAC検索

図書館に所蔵が無い場合等、OPAC検索ボタンを押下してもヒットしないことがあります。

学位授与の方針との 関連 Relationship to Diploma Policy	各学部・研究科の学位授与方針は、こちらを参照してください。(kwic→学生キャビネット→教務機構→学位授与方針(DP)、教育課程の編成・実施方針(CP)、教育課程表、カリキュラム・マップ) <a href="https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabinetId=557&amp;directLink=1&amp;directLink=1">https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabinetId=557&amp;directLink=1&amp;directLink=1</a> ※kwicへのリンクとなります(在学生のみ閲覧可)
--	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常レポート/Individual reports (04)	100%	クラス終了後の平常レポート(60%)、最終課題レポート(40%)
	備考 Note 「クラス終了後の平常レポート(60%)」は毎回、授業後に講師からの課題をコメントカードに記入してその場で提出になります。 「最終課題レポート(40%)」は、LUNA上への提出を原則としますので、IDとパスワードが使えるよう常に管理をしてください。レポートの課題、成績評価基準、提出時の注		

意事項などは、LUNAで確認できます。また、【フレックスアワーズ】の講義でも改めて説明します。

更新日時/Date of Update

2026年03月09日 16時12分52秒

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2026年度	春学期／Spring	金曜 2 時限／Friday 2	春学期／Spring	5 別－ 6

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。

\* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.